

2022年度業務実績報告書

提出日 2023年 1月 4日

1. 職名・氏名 教授・久米真代

2. 学位 学位 博士、専門分野 看護学、授与機関 石川県立看護大学大学院、
授与年 2017年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 1. 老年看護学概論（2単位）2年前期 2. 老年看護学（2単位）2年後期 3. 老年看護学演習（1単位）3年前期 4. 老年看護学実習（4単位）3年後期 5. 老年看護発展セミナー（1単位）4年前期
②内容・ねらい 1. 老年看護を初めて学ぶ科目であるため、高齢者の身体と心、社会の中での高齢者に関心をもてるようにする内容である。 2. 高齢者に多い身体疾患を取り上げ、看護に必要な知識を強化する内容である。 3. これまで学んできた知識をさらに強化し、使える知識にするための演習、看護過程の展開、模擬患者への実践を行う内容である。 4. 病院と介護老人保健施設の2か所で実習を行い、療養する場の違いによる看護の方向性の違いについて学習する。高齢者の生活を守る制度や仕組みについて学習する中で看護師が果たす役割を考える内容である。 5. 既習の学修内容をさらに発展するため、多職種が行うアプローチと課題を高齢者の立場から考える内容である。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 1. ゲストスピーカー：老人看護専門看護師1人 3. 模擬患者：認知症看護認定看護師4人 4. ゲストスピーカー：認知症看護認定看護師1人、作業療法士1人 5. フィールドワーク：介護老人保健施設にて半日間、多職種と討議を実施
(2)その他の教育活動
内容 特になし。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書 「最新老年看護学第4版」共著（第7章C・E・G3、P.322-325,331-336,345-347）、2022年、日本看護協会出版会 「Contributions to the Local Community Through the University」共著「Community health and longevity project」の部分、2022年、IntechOpen 978-1-80355-135-7	【2本】
②学術論文（査読あり）	【0本】
③その他論文（査読なし）	【0本】
④学会発表等	【0件】
⑤その他の公表実績 「身体疾患を合併した認知症高齢者の早期退院に向けた看護」、単著、臨床老年看護学（29巻1号）、2022年1月	【1本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
【学外】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究「一般病院に入院した認知症高齢者の生活機能低下予防プログラム構築に向けた基礎研究」（令和3年～令和6年） ・ 科学研究費補助金 基盤研究（C）「選ぶこと、立つ・歩くことの支援が認知症高齢者とスタッフに及ぼす効果」（分担研究者）（主任研究者：渡辺陽子）（平成31年～令和4年） 	
(3)特許等取得	
なし	
(4)学会活動等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第31回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会 シンポジウム「超高齢者社会における高齢者のストーリーケア」シンポジスト、発表テーマ「認知機能の低下した高齢者とともに行うストーリーケア」（2022年5月21日オンライン開催） ・ 日本腎不全看護学会 編集委員 ・ 日本看護学会—在宅看護—論文選考委員 	

5. 地域・社会貢献活動

- ③レビー小体型認知症サポートネットワーク石川 代表（レビー小体型認知症の当事者およびご家族、支援者が相互に理解し合い、悩みを解決する場の運営 2016年から現在に至る）
- ⑥-1 公開講座（臨床に活かす看護研究第3回血液透析を受ける認知症高齢者へのケア、オンライン開催、2022年11月5日）

6. 大学運営への参画

(1)補職

なし

(2)委員会・チーム活動

- ・倫理小委員会（2022年4月～）
- ・研究活性化WG（2022年4月～）
- ・学部・研究課パンフレット委員（2022年4月～）
- ・地域志向科目部会（2022年4月～）

(3)学内行事への参加

入試説明会（鯖江高校）（学部紹介、オンライン開催、2022年7月21日）

(4)その他、自発的活動など